

このままでは 日本が 危ない

国民からは、鳩山総理と小沢幹事長の「政治とカネ」の問題について「説明責任が果たされていない」と、依然厳しい声があります。

しかし民主党は、私たちの「小沢幹事長の証人喚問要求」は無視し、「石川衆議院議員の辞職勧告決議案」も放置したまま。国会の日程も自分たちの都合で勝手に決めて進めています。与党が少数派の野党に目配りしながら進めるのが民主的な国会のはずですが、数の力を背景にした独裁的な国会運営には民主主義崩壊の危機を感じます。

私たちは、国会審議に復帰しました。これからも、国会の“常識ある運営”を求めていく決意です。

ご理解をよろしく願います。

外国人参政権 反対 夫婦別姓制度 反対

- ✓ 鳩山総理「日本は日本人だけのものではない」果たして本当でしょうか？日本が世界から独立国として認められているのは「国民」「領土」「主権」があるからです。
- ✓ 選挙によって「主権」を行使し選ばれた議員が法律を作る。選挙権は「主権」の最たるものです。外国の方に選挙権を与えることは「主権」を他国に譲ることと同じです。
- ✓ 「私は税金を払っているから」次元が違う話です。税金は行政サービスの対価です。日本人であれば生活保護を受けている方でも選挙権を有します。
- ✓ 日本国籍を申請する手続きを「帰化」といいます。法務省では柔軟に対応しています。オリンピック選手は国籍を取得しないと国の代表になれません。当然ですね。
- ✓ 夫婦になって同じ姓を名乗るのは日本人にとって自然な行為です。「夫婦別姓」になると、家族制度や家族の絆が崩壊してしまうのではないのでしょうか。
- ✓ 親子や兄弟が別の姓になることも？家族のお墓の名前はどうか？簡単に離婚をする夫婦が増えるのでは？心配がつきません。このままでは日本が危ない。

バラマキ政策はいらない。

「鳩山不況」によって景気回復が遅れています。
私たちは、選挙目当ての“バラマキ政策”によって
肥大化した鳩山内閣の予算案に反対しています。

「予算の編成替え」を要求し、財政健全化と雇用対策を実現します。

要求の主なポイント

- 政府案では国債発行額が 44.3 兆円で、公債依存度が過去最大の 48% に。
“バラマキ政策”を止め、**国債発行額を 3 兆円規模で減額**、予算規模の健全化を求める。
- 子どもたちにツケを負わせることなく、財政再建の道筋をつけることは「政治の責任」。
このため、財政健全化の具体的な目標を規定する「**財政責任法**」(仮称)の制定を求める。
- “**子ども手当**”を止め、幼児教育の無償化、保育所・保育士の拡充、給食費の無償化などを実施する。「就学援助制度」や「新たな給付型奨学金」の創設、低所得者の授業料無料化、学校耐震化などが必要な政策であり、“**高校授業料無償化**”の撤回を求める。
- 安心できる社会保障制度の確立のためには安定的な財源が不可欠。**消費税を含む税制の抜本改革**を、平成 23 年度までに必要な法制上の措置を行い、経済状況の好転後遅滞なく実施することを求める。
- 自治体・企業・NGO の連携のもと、個人ごとの自助努力を補助する「**能動的な雇用対策**」のきめ細かな展開を求める。
- 政府の行う**コメ戸別所得補償モデル事業**は、農業全体の弱体化と地域の混乱を引き起こすものであり、**即時撤回**を求める。
- 公共事業の 18.3% に及ぶ削減は極端すぎて尋常でない。雇用や地方経済への多大な影響が懸念される。内需拡大の基盤づくりや地方の雇用を生み出すために**公共事業を前倒しできる仕組みに修正**する。また、**高速道路無料化の社会実験の中止**を求める。

自民党

